

MS Office 2007 の操作説明用動画教材の作成

総合情報基盤センター 技術補佐員 牧野 久美
教 授 木原 寛

2007年3月に、五福キャンパスの情報教育用端末室のすべてのWindows PCにMS Office 2007が導入され、教養教育の「情報処理」などで利用されることとなった。Office 2007ではユーザインターフェースが一新され、従来のOffice 2003などとは使い勝手が大きく異なるため、利用者の戸惑いも大きい。そこで、教科書や教員による説明に加えて、学習者の自学自習によって習熟度の差を埋めることを目的とし、画面上の操作をそのまま記録し、説明を加えてFlashムービー化した動画教材を作成した。

Flash ムービー化した動画教材の作成及び提示

Office 2007のアプリケーションのうち、Word 2007、Excel 2007及びPowerPoint 2007の基本的な操作に関する教材を作成した。

Flashムービーの作成には、PC画面動画キャプチャーソフト Adobe Captivate 2を用いた。

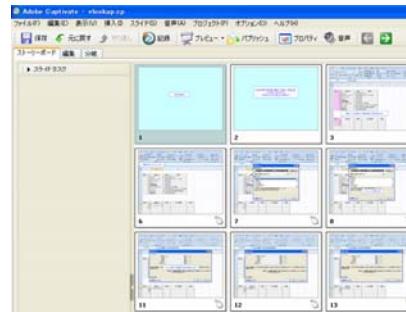
動画ムービーの作成と教材提示の手順は、以下の通りである。

- ① 教材のシナリオを作成する。
- ② Captivate を起動し、記録オプションでウィンドウサイズやマウスクリックの扱いなどの設定を行う。

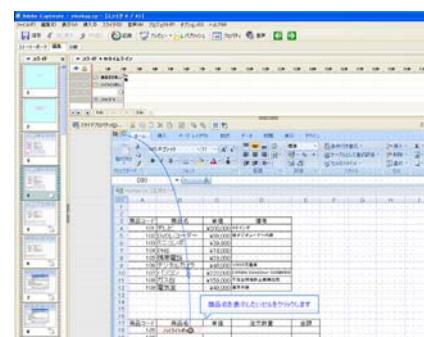


- ③ マウスやキーボードによる画面上の操作をキャプチャして記録する。

- ④ ストーリーボードで不要なスライド等を削除する。

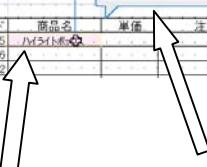


- ⑤ 編集画面に切り替え、テキストキャプションやハイライトボックスの追加や修正を行う。さらに、各オブジェクトの表示のタイミングを調整したり表示オプションを適用して、より理解しやすくなるよう編集を行う。



商品コード	商品名	単価	注文数量	金額
102	DVDレコナター	¥89,000	地デジチューナー内蔵	
103	ミニコンポ	¥39,800		
104	PHS	¥18,000		
105	携帯電話	¥28,000		
106	デジタルカメラ	¥48,000	1000万画素	
107	パソコン	¥20,000	1.6GHz Core2Duo 320GBHDD	
108	ガス台	¥159,000	完全燃焼抑制装置採用	
109	電気釜	¥48,000	標準外鍋	
110				
111				
112				
113				
114				
115				
116				
117				
118				
119				
120				

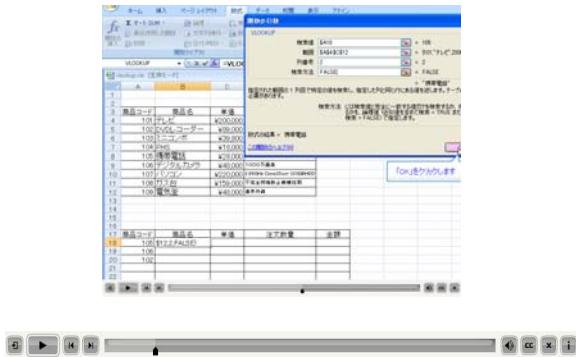
商品名を表示したいセルをクリックします





タイムラインによるオブジェクトのタイミングのコントロール

- ⑥ 画面構成に合ったデザインのコントローラを設定する。コントローラを使用することで、一時停止・再生・早送り・巻き戻しの操作が可能となっている。



- ⑦ プレビューして全体の流れを確認し、必要に応じてさらに編集を行う。
⑧ 編集が完了したら、ムービーをパブリッシュする。Flash (SWF) を選択し、出力オプションで HTML の書き出しを設定する。



- ⑨ 各ムービーにリンクを張ったメニューページ (HTML ファイル) を作成し、動画が Web ブラウザ上で再生されるようにする。



Excel 2007 を使う

- はじめに
- [Excelでできること](#)
- [Excelの起動](#)
- [シートの構成](#)
- [データの入力](#)
- [ブックの保存](#)
- [Excelの終了](#)
- [既存のファイルを開く](#)
- [セルの大きさの変更](#)
- [セル内の文字揃え](#)
- [値の表示形式](#)
- [クイックアクセスツールバー](#)
- [計算式の入力](#)
- [相対参照と絶対参照](#)
- [複合参照](#)
- [合計の計算](#)

- ⑩ 総合情報基盤センターの Web サイトにアップロードし、教材として公開した。¹⁾

- ◆ [ワード・プロセッサ Word 2007 を使おう](#)
 - [Word 2007 の作図機能](#)
- ◆ [表計算ソフトウェア Excel 2007 を使おう](#)
 - [Excel 2007 による関数の利用](#)
 - [Excel 2007 によるグラフの作成](#)
- ◆ [プレゼンテーションソフトウェア Power Point 2007 を使おう](#)

まとめ

使用した学生に対してのアンケート結果からは、「自主学習に役立った」という評価が数多く得られた。

Adobe Captivate には、ナレーションなどの音声あるいは小テストをプロジェクトに追加する機能がある。これらの機能を活用し、より学習意欲を促進する、視覚的でインタラクティブな教材の開発を今後検討していきたい。

文献

- 1) <http://www.itc.u-toyama.ac.jp/e1/>